

ロードマップ 2015年度進捗状況

第1の柱：SNの理念を広く世界に発信するため、情報発信力を強化すると共に、人が育つ基盤を整備します

テーマ	取組主体	NO.	アクション	目標	施策案	到達実績 レベル	2015年度実施状況
SNを普及する	日本協会	1-1-1	社会のためにあるべきSNの研究を行い発信します	・SN活用情報の発信	研究会の立ち上げ1 手法検討1 情報収集・検討2 試行的実践3 発信4	3	SN普及委員会3回開催 農業/国際交流/トレッキング×SN ショルダーコピー作成 使用開始 SNサイト呼びかけ実施 SNメルマガジン開始
			全国の実践事例を集約・発信する活動を推進します	・事例集の発行 ・専門領域情報	手法検討1 情報・事例集約2 内容検討3 発信4	2	事例集未着手
		1-1-2	サービス提供・情報発信の担い手を養成します	・指導者の質的向上 ・新たな発信者	手法の検討1 試行的実施・検討2 担い手養成3 指導者活動4	2	自然案内人での事例紹介 4件 NG研究集会（幼児）開催 46名
						2	NG研究集会（幼児）開催 46名 農業/国際交流/トレッキング×SN
		1-1-3	国際組織、他の団体や事業者等との連携を進めます	・スポンサー10社確保 ・連携団体等獲得 ・SNWWへの支援連携の実施	手法の検討1 相手先の調査2 相手先の確保3 連携事業の実施4 着手1 進め方協議2 情報人材の交流3 連携事業の実施4	1	エコプロダクツ展 出展
						2	
	地方組織	1-2-1	地域における情報等の発信源となります	・地域向け情報の発信 ・指導者間の情報交換の場提供	情報発信・交流の手法検討1 手法の整備と試行2 ネットワークの整備2 情報発信・交流3 定常的な実施4	1	県だより配布支援継続 39/47都道府県が利用 3回利用 29都道府県 2回利用 7 "
						1	ホームページの活用 SNSサービスの活用 ブロックの活用検討
SNを実践する	会員	1-3-1	SNを自ら実践します	・日常生活にSNを活かす	自ら取り組める方法を考える1 SNAJでも場と情報を提供する2 自主的な取組として進めていく3 日常の一部として実践4	2	全国一斉SNの日 統一テーマでの実施会場を増やすためテーマ例を早めに公開 情報誌にて呼びかけ 実施報告等のデータの集約が課題 実施回数増回の検討 SNの日主催行事の開催

アクションプランでの年次到達目標レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
---------------------	------	------	------	------

↑
到達実績レベル

第2の柱:会員の想いを一つの力に集結させていく組織体制を構築します

テーマ	取組主体	NO.	アクション	目標	施策案	到達実績 レベル	2015年度実施状況
双方向に「想い」 を届けるルートを 強化する	日本協会	2-1-1	都道府県協会・地 域実践団体・加盟 団体との連携強化 を図ります	・地域組織支援確立 ・意見集約ルート確立	手法検討1 手法の試行2 手法の実施3 手法が定着4	3	特別助成金での支援実施
		2-1-2	ブロック体制を活 用していきます	・ブロックの方針設定 ・地域組織間の連携実施	あり方検討1 方針の検討2 実践と見なおし3 定着4	1	ブロック事業説明会継続
		2-1-3	全国で統一して取 り組める課題を提 示していきます	・統一課題の提示	進め方検討1 課題の提示と実践2 PDCA3 定着4	2	自然案内人特集「FL」
		2-1-4	会員の直接的な運 営参加の機会を提 供します	・会員による事業評価 ・会員意識調査実施	進め方検討1 試行2 運用3 改善しながら定着4	2	次年度事業提案募集 TELL MEカード継続
		2-1-5	会員と共にある事 務局づくりを推進 します	・年間20回以上地域行事に 参加	進め方検討1 試行2 運用3 定着4	2	ブロック説明会
都道府県協会の機 能を高める	地域組織	2-2-1	都道府県協会によ るSN活動推進の戦 略を立てます	・活性化施策の立案	実施方法協議1 戦略検討2 戦略の設定・運用3 改定と継続4	1	戦略作成の呼びかけ実施予定
		2-2-2	都道府県協会の組 織力・行動力を強 化します	・組織の整理統合のしくみ 確立	進め方検討1 SNAJによる支援2 試行3 実施し組織安定化4	1	コーディネーターNL発行
		2-2-3	地域組織の発信力 を高めます	・地域向け情報発信 ・地域の集約と発信	進め方検討1 SNAJによる支援2 収集・発信の試行3 実施4	2	チラシ及び情報誌の頒布 配布先（団体/個人） ●チラシ/パンフレット 団体案内 高齢者施設向けパンフ 幼児教育者向けパンフ モデル園パンフ 資格活用チラシ アクティビティチラシ ●情報誌SNL ホームページイベント掲載の活用
		2-2-4	指導者会員の活動 の場を拡充させま す	・自主事業取組強化 ・派遣制度実施	進め方・派遣制度検討1 試行2 運用3 継続4	3	助成金活用事業の幹旋（TOTOKU） 講師依頼への幹旋 受託イベントでの幹旋 高齢者、幼保担当者へのアプローチ
		2-2-5	指導者会員の拡大 と支援を行います	・養成講座の実施 ・研修講座	これまでのふりかえり1 制度の拡充2 運用・継続4	2	講座開催継続 開催条件（最低6人）の施行 普及用ツールの無料頒布 自主研修会の実施
		2-2-6	域内における関係 団体との連携を深 めます	・連携事業の実施	進め方検討1 相手先調査2 試行3	1	コーディネーターニュースレターによる呼びかけ

					継続 4		
会員として積極的な関わりを強める	会員	2-3-1	積極的に情報を受け止め、発信していきます	・情報の受信 ・組織への提言	ルート・手法を検討 1 実施 3 継続的实施 4	1	情報誌「SNL」 普及用チラシ アンケート（9月会報同封） TELL Meカード
		2-3-2	積極的な参画をとおして自己実現を図ります	・研修や事業に年1回以上参加	機会の検討 1 機会の充実 2 参加 3 継続的参加 4	2	各種研修会企画 行事情報の提供（情報伝言板） HPイベント掲載 指導員手帳と単位発行

↑

到達実績レベル

アクションプランでの年次到達目標レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
---------------------	------	------	------	------

第3の柱:継続的な事業展開のために必要な運営基盤を整備します

テーマ	取組主体	NO.	アクション	目標	施策案	到達実績 レベル	2015年度実施状況
確固たる経営基盤 を構築する	日本協会	3-1-1	日本協会スタッフ の強化を図ります	・職員の資質向上 ・育成計画	進め方検討1 育成計画策定2 職員研修実施3 継続実施4	3	スタッフ研修会実施 研修参加支援継続
		3-1-2	事業サービスのた めのインフラ強化 を図ります	・教材開発 ・本部インフラ整備	進め方検討1 整備計画作成2 教材開発3 インフラ整備3 教材の継続的開発4	3	教材開発四角友里コラボカード ホームページの拡充 データバックアップ方法検討
		3-1-3	資金的安定化を図 ります	・事業整理 ・事業収支計算の実施 ・会員サービスの整理 ・積み立て	進め方検討1 情報整理2 施策の検討2 運用3 継続的实施4	3	事業評価の実施 事業整理を踏まえた事業計画 プロジェクト収支管理実施 外部資金の導入
		3-1-4	情報システムの強 化を図ります	・データベース確立 ・セキュリティの確保	進め方検討1 情報整理2 施策の検討2 運用3 継続的实施4	1	外部業者へ相談したが条件等折り合い つかず、良い業者がみつからないまま 情報管理規程の整備検討 事務局内データ管理ルール整備検討
		3-1-5	コンプライアンス や規程などの整備 を進めます	・諸規程の確認と見なおし	進め方検討1 情報整理2 見なおし実施2 運用4	2	報告書フォームの整備 規定見直し マイナンバーへの対応
		3-1-6	寄付金を増やす取 り組みを進めます	・寄付金の受入100万円／ 年	進め方検討1 案内先情報整理2 寄附営業2 寄附募集活動3 継続的实施4	1	HPへの掲載 ※なんのための寄付なのか？アピール が難しい
		3-1-7	協会事業安定化の ためのリスク分散 を図ります	・事業の多角化	進め方検討1 情報整理2 試行2 運用3 継続的实施4	1	高齢者施設向けパンフ継続配布 幼保施設向けパンフ継続配布 新規事業の検討
安定的な事務処理 基盤を構築する	地域組織	3-2-1	事務処理体制の見 直しを図ります	・マニュアル化	現状の把握1 課題の整理2 マニュアルの制作2 試験的運用3 見直して運用4	2	組織運営マニュアルの作成
		3-2-2	情報セキュリティ の徹底を図ります	・セキュリティの確立	情報の整理1 SNAJから情報提供2 スタッフ研修会3 継続的運用4	2	名簿使用ルールの再確認
基盤構築を支えて いく	会員	3-3-1	ボランティア参画 を図ります	・スタッフとして年1回以 上参加	情報の整理1 継続的参加4	1	普及賞推薦の呼びかけ（9月情報誌） お茶っこ広場、福島ママネット等の情 報提供
		3-3-2	日本協会への新規 事業の提案を行 います	・日本協会への提案、年1 回以上	情報の整理1 継続的提案4	4	事業提案募集（9月情報誌）
		3-3-3	日本協会等の寄付 金募集に協力し ます	・寄附への協力者紹介 ・募金協力	情報の整理1 相手先に紹介2 継続的募金・紹介4	1	HPへの掲載

アクションプランでの
年次到達目標レ
ベル

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

↑

到達実績レベル

到達実績レベルのイメージ

ime-ji	アクションの内容について検討を行うレベル プロジェクトチームを立ち上げたり、必要な情報を収集・解析したりしながら施策づくりを行うような段階
レベル2	アクションの内容について試行するレベル 作成した施策等を試行的に実施し、課題の整理やよりよい施策とするための質的向上を図るような段階
レベル3	アクションの内容を実施するレベル 試行的に行った内容についての評価を行って、フィードバックされた内容を、年次事業計画のなかで本格的な取り組みとして実施する段階
レベル4	アクションの内容が完了しているレベル アクションで求める答えが出る、あるいは、そこで規定された状態を維持できているなど、アクションの内容が達成・完了している段階